

呉市長が「呉港の特定利用空港・港湾指定」に同意した件について、議会で審議することを求める請願

標記請願を受理したので議会に付議する。

令和8年9月7日

呉市議会議長 林 田 浩 秋

紹介議員 山 上 文 恵
久 保 東
奥 田 和 夫

2026年8月31日

呉市議会議長 林田浩秋様

日鉄呉跡地問題を考える会

共同代表 森 芳郎

西岡由紀夫

連絡先

紹介議員

山上 文恵
久保 東
奥田 和夫

呉市長が「呉港の特定利用空港・港湾指定」に同意した件について、議会で審議することを求める請願

地方政治は首長と議会の二元政治です。首長の行政行為に対して議会は「住民福祉の増進」の立場でチェックする役割があります。

呉市産業部が出した「呉港における特定利用空港・港湾への対応について」の文書は、漁業者や港湾運送事業者が抱く不安について、「訓練は年数回程度が想定され」「港湾関係者や市民への影響は小さい」と国の説明を鵜呑みにしたかのような内容です。

行政のこのような「国言いなり」の楽観的態度に対し、今こそ議会は住民の負託を受けた存在として、チェック機関としての役割を果たすべきだと考えます。

現在の特定利用状況は、那覇空港（9964回／2年間）、熊本空港（1581回／2年間）です。呉では8月28日、防衛省が日鉄と日鉄呉跡地の取得契約を結びました。もしこれが実現されるなら、呉港一帯は軍事物資の生産・保管・輸送の国内最大級拠点となり重要度は増し、呉港の特定利用数は青天井に増加する可能性があります。

また、特定利用には「利用は弾道ミサイルの飛来を想定した訓練や米軍との訓練も含まれる」と書かれています。（中国新聞 8月28日）

さらに2026年9月実施予定の日・米・豪実動訓練「オリエント・シールド26」では、呉港海域の米軍広弾薬庫から海上自衛隊呉基地を経て、海上輸送群によって北海道演習場までの弾薬輸送計画が明らかになっています。

以上のように今回の特定利用案件については、呉市民の安全・安心を脅かす内容を持っているために、諸々の材料を集めて徹底審議することを請願します。

なお、前回の産業建設委員会では否決されましたが、呉市議会基本条例12条に基づいて、他の市議会のように請願者が主旨説明することを改めて強く要望します。

1. 新原芳明呉市長が同意した「呉港の特定利用空港・港湾指定」について、議会で徹底審議をしてください。

以上